

CSR Report 2021



Corporate
Social
Responsibility



2021

Corporate
Social
Responsibility
REPORT

Contents

ステークホルダーの皆さまへ	P.03
CSRの考え方	P.04
企業理念	P.05
企業行動規範・会社概要	P.06
品質方針	P.07
環境方針	P.08
特集 [貴重な文化財を電気火災から守る]	P.09
お客様とともに [品質統括部]	P.11
お客様とともに [営業本部]	P.13
お客様とともに [開発本部]	P.15
従業員とともに [人事部]	P.17
取引先とともに [生産本部]	P.19
株主とともに [総務部]	P.21
地球環境のために [施設環境室]	P.23
企業ガバナンス	P.25
社会貢献① ~地域に"寄り添う"企業へ~	P.27
社会貢献② ~アートのある社会生活を~	P.29
安全・安心な職場づくり	P.30

編集方針

当社はCSR経営方針に掲げた5つのテーマを重点課題と位置付け、さまざまな活動に取り組んでいます。このCSR報告書をステークホルダーの皆様との重要な企業コミュニケーション活動のツールとして考え、分かりやすくお伝えすることを目指して作成しています。

■対象期間

2020年4月1日 ~ 2021年3月31日

■対象範囲

本社・開発本部・名古屋工場／菊川工場／磐田工場／掛川工場
中津川工場／唐津工場／栃木野木工場／東北日東工業(株)

■発行時期・部署

2021年9月 広報室



ステークホルダーの皆さまへ

A portrait of Takashi Kuroiwa, a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a dark suit, white shirt, and striped tie. He is smiling and looking slightly to the right. A small circular logo is pinned to his lapel.

地球の未来に
「信頼と安心」を届ける
企業グループへ

取締役社長 COO

黒野 透

人へ、社会へ。電気と情報を明日へつなげるために、私たちの技術があります。

1948年の設立以来、私たちは電気設備や機器の開発・提案を通じて
電気や情報のインフラを、毎日の暮らしから産業までのさまざまなシーンで
サポートしてきました。

これからも日東工業グループの「総合力」の強みを活かし、
持続可能な社会インフラの構築を支え、

世の中に信頼される課題解決企業集団となれるよう

「地球の未来に信頼と安心を届ける企業グループ」を目指して邁進していきます。

CSRの考え方

当社は、設立以来「優良な製品を以て社会に貢献し、生産性向上により会社と従業員の発展繁栄を期する」を社是として、この思いを大切に、いつの時代も変わることなくお客様に喜んでいただける製品づくりを心がけてきました。

しかし、急速に変わる時代の流れとともに求められる価値が変わってきています。

わたしたちは、従業員一人ひとりが同じ価値観を持ち、お客様や社会の皆様の声に耳を澄ませながら、自然や地域社会との共生を目指していきます。

さらに、日々の企業活動の中で、日東工業だからこそできる価値を追求し、5つのCSR経営方針を実践することで、「地球の未来に信頼と安心を届ける企業グループ」として持続可能な社会の実現に貢献していきます。



企業理念

社 是

優良な製品を以て社会に貢献し、生産性向上により会社と従業員の発展繁栄を期する。

経営理念（CSR経営方針）

- お客様にご満足いただける新たな価値を創造し続けます。
- 人間尊重の精神に基づいた企業活動を進めます。
- 高い倫理観、道徳観に根ざしたコンプライアンス経営を実践します。
- 美しい地球を次世代へつなぐことに貢献します。
- 株主価値を高める経営を常に行います。

スローガン

CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～

長期ビジョン

地球の未来に「信頼と安心」を届ける企業グループへ

目指す姿

- 持続可能な社会インフラの構築を支える
- 安心・安全な未来づくりに努め、次世代へとつなぐ
- 世の中に信頼される課題解決企業集団となる

持続可能な社会の実現に向けた目標 ～ 重要課題 ～

再生可能エネルギーの促進、車両電動化の支援を通じて、**脱炭素社会の構築に貢献する**



老朽化したインフラの更新、防災・減災に関わる製品・サービスを通じて、**強靱な社会の実現に貢献する**



ICTの更なる進展を支え、**ニューノーマル社会の構築に貢献する**



製品・サービスの提供を通じ環境負荷低減活動を推進し、**循環型社会の実現に貢献する**



顧客が抱える社会課題に寄り添い、解決サポートすることで世の中になくってはならない存在となる



日東工業グループであることに誇りを持ち、自己の成長、働きがいを感じられるようになる



経済的価値 と 社会的価値 を両立させ、企業価値を高める

企業行動規範

項目	主な内容
社会的規範の遵守	日東工業グループは、法令や社会的規範、社会的良識に基づいた事業活動を行います。
社会的に有用な製品・サービスの提供	日東工業グループは、安全性・環境保全などに十分配慮し、お客様に満足していただける優れた品質の製品・サービスを提供します。
公正な取引と健全な事業活動	日東工業グループは、公正かつ自由な競争の確保が、市場経済の基本ルールとの認識のもとに事業活動を行います。また、政治・行政との健全かつ正常で透明な関係を維持するとともに、社会的秩序や企業の健全な活動に悪影響を与えるあらゆる個人・団体とは一切係わりません。
企業情報の管理と公正な開示	日東工業グループは、保有する秘密情報や個人情報については、それらが漏洩することのないよう適切な情報管理を行います。会社情報の開示に関しては、必要と認められる情報を、株主・投資家はもとより広く社会に対し積極的に開示します。
知的財産の尊重	日東工業グループは、知的財産の重要性を認識し、その管理に細心の注意を払います。また、第三者の権利を尊重するとともに、自らの権利を守り防衛します。
環境保全への取り組み	日東工業グループは、事業活動を行うにあたり、資源の有効活用・再資源化・省エネルギー・廃棄物の削減・環境汚染の予防に努め、豊かで健康的な社会の環境作りに貢献します。
社会貢献	日東工業グループは、地域・社会との連携と協力を図り、良き企業市民としての役割を積極的に果たします。
安全で働きやすい職場環境の実現	日東工業グループは、社員のゆとりと豊かさを実現し、快適・安全で清潔な職場環境を確保するとともに、社員の人格・個性を尊重し、差別のない自由闊達で創造性の発揮できる企業風土を実現します。
国際ルールの遵守	日東工業グループは、事業活動にあたり国際ルールを遵守するとともに、諸外国の文化・慣習を尊重します。

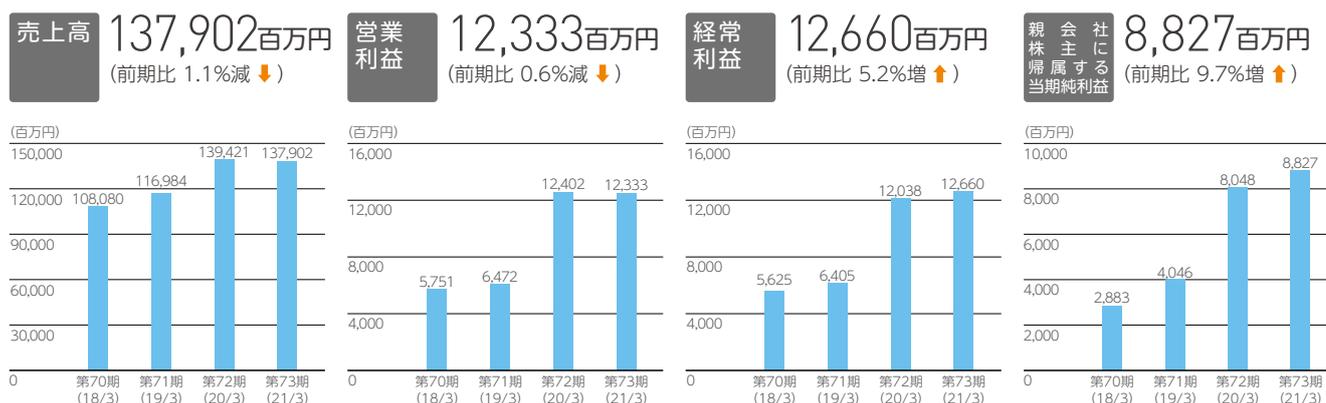
会社概要

■ 会社概要 (2021年3月31日現在)

商号	日東工業株式会社
英文社名	NITTO KOGYO CORPORATION
本社	〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地
設立年月日	1948年11月24日
資本金	65億78百万円
従業員	連結 4,062名 単体 1,960名

事業内容	電気機械器具製造・販売および発電・売電事業
工場	名古屋、菊川、磐田、掛川、中津川、唐津、 栃木野木、東北日東工業(花巻)
主要営業所	札幌、仙台、さいたま、東京、横浜、静岡、 名古屋、大阪、京都、広島、高松、福岡など 全国45カ所* <small>*ソリューション営業部・東京支店を除く</small>

■ 財務データ (連結業績)



品質方針

お客様に、当社製品を安全・安心にご利用いただけるように、日東工業グループでは「安全・安心な、より高い品質の製品・サービスをお客様に提供する」を品質方針として、お客様第一主義に基づくサービス体制を進めています。

品質方針

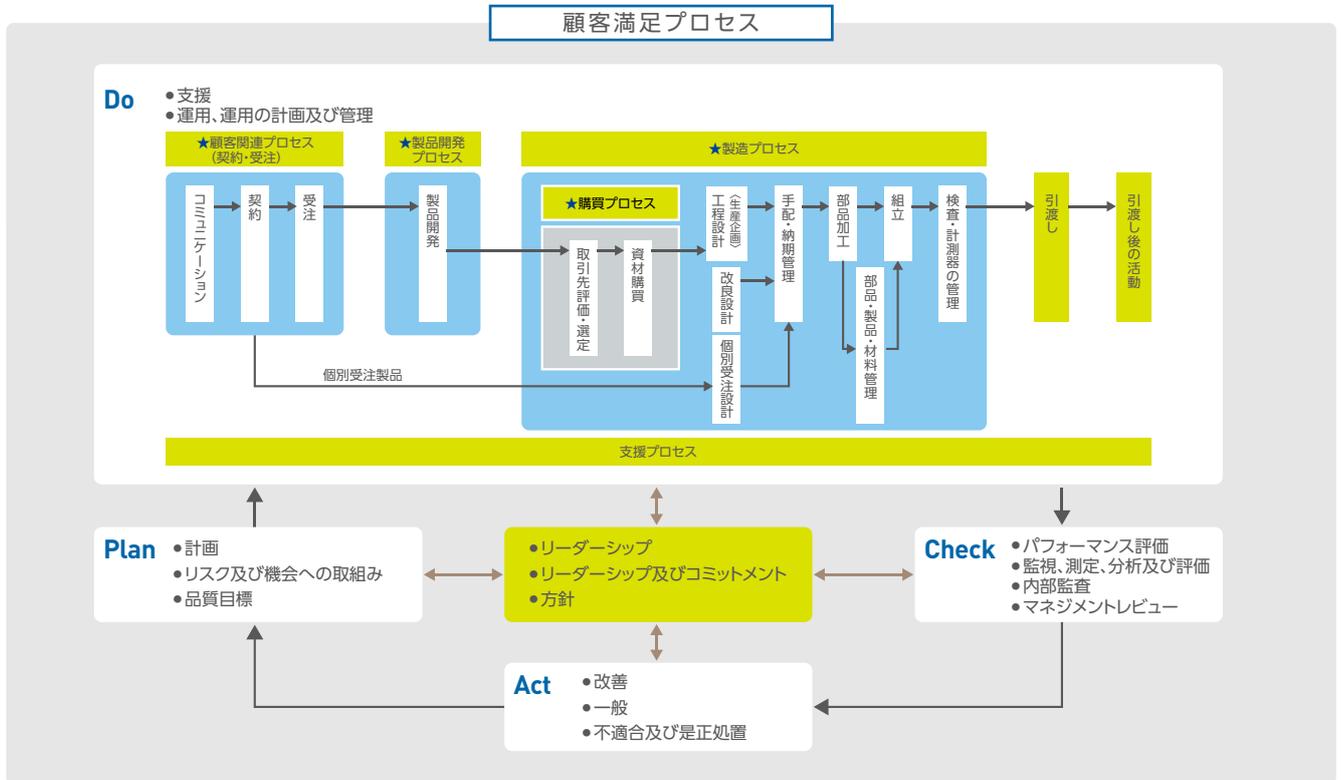
安全・安心なより高い品質の製品・サービスをお客様に提供する

品質目標

品質改善の推進

品質保証体制

お客様満足度向上を図るために、当社では「品質統括部」を設置し、社内規程に「品質・環境マニュアル」を定め、専門委員会(品質委員会)を通して、問題点の改善に向けたPDCAを回しています。



ISO9001の認証を取得

1997年7月4日に菊川工場で品質マネジメントシステムISO9001の認証を取得し、現在は、全工場(東北日東工業㈱を含む)・全営業所で取得しています。



品質教育

品質マネジメントシステムを実施し、お客様満足度を高めていくために、社員一人ひとりの能力向上は必要不可欠です。当社では、個々の能力に応じた教育カリキュラムを作成し、品質能力の向上を進めています。

教育内容	対象者
品質マネジメントシステム(一般教育・基礎)	新入社員・中途入社社員
品質マネジメントシステム(一般教育)	新任課長・所長
QC7つ道具	全社員
QCサークル研修	推進者・リーダー
ISO9001内部監査員資格取得教育	課長職
品質特別教育	関連部門
QC工程表のつくり方	関連部門
品質目標に関する教育	全社員

環境方針

当社では、1994年度に環境方針を策定し、以来、長期的な展望に立脚して環境保全活動に努めています。
2001年3月にISO14001の認証を受け、社会状況を鑑みながら環境方針も見直し、2015年のISO14001改訂に伴い、2017年度からはリスクも考慮した活動へ発展させてきました。

■ 環境理念

当社グループは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、製品の開発、生産活動、販売など全ての活動をとおして、SDGsの達成と政府の進める「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の実現に向けた取り組みを進め、持続可能な社会へ貢献して参ります。

■ 環境方針

方針「環境に貢献する新たな価値をつくり出し、美しい地球を次世代につなぐ」

1 環境関連の法律・条例・協定等を遵守します。

事業活動、製品及びサービスの環境影響をライフサイクルで捉え、以下のテーマに環境目標を定め取り組みます。

- ### 2
- 製品環境負荷の削減
 - 地球温暖化の抑制
 - ゼロエミッションの維持、排出物削減

積極的な環境保護活動を推進するため、以下のテーマに取り組みます。

- ### 3
- お客様へ環境に配慮した商品の提供
 - 環境に配慮した「グリーン調達」の推進
 - 環境に優しい物流輸送の推進
 - 地域社会の一員として地域保全活動を通じ自然との調和を推進
 - 安全・安心を地域社会に提供（環境汚染予防活動の実施）

4 環境に関する情報を開示する。

5 この方針を、役職員含むすべての業務従事者に周知し、展開する。

■ 環境方針に関連するSDGs



貴重な文化財を 電気火災から守る!

近年、建物の火災件数は減少傾向にあるものの、電気火災の占める割合は増加傾向にあり、電気火災の未然防止は重要性を増しています。

「特集」では放電検出ユニット(スパークテクト)と感震ブレーカーの設置をとおして、歴史のある建物などを保全・継承する取り組みを紹介します。



放電検出ユニット **Spartect** ってなに？

電気火災につながる火花放電の特有ノイズを当社独自技術により検出し、電気火災を未然に防止する日本初の製品です。1台で家屋全体を監視し、壁の内側や屋根裏などの普段人目に触れない場所のケーブルの火花放電も検出できます。「第17回/2020年“超”モノづくり部品大賞」では「電気・電子部品賞」を受賞し、多方面から高評価をいただいています。



「電気・電子部品賞」受賞

スパークテクトの
詳細はコチラ



久能山東照宮<国宝>に設置

久能山東照宮(静岡県)の国宝である本殿などに電気を供給する分電盤など9カ所に、「放電検出ユニット(スパークテクト)」を9台設置しました。また、大地震による地震発生時及び停電後の復電(通電)時における電気火災の未然防止に有効な「感震ブレーカー」を4台設置しました。



感震ブレーカー

放電検出ユニット
(スパークテクト)



宮司:落合 偉洲 さま

久能山東照宮は山の上にあるため主に山火事から建物を守る備えを進めてきました。しかし、近年電気が原因による火災も怖く、今回の設置は非常にありがたいです。特に壁内配線など目に見えない部分を監視できるのは安心できます。



久能山東照宮



富士山本宮浅間大社



富士山本宮浅間大社〈世界遺産〉に設置

世界遺産「富士山—信仰の対象と芸術の源泉—」の構成資産の一つである富士山本宮浅間大社（静岡県）に放電検出ユニット（スパークテクト）と感震ブレーカーを搭載した電灯分電盤を設置しました。電気火災の未然防止を目的とする防火設備として選ばれました。



放電検出ユニット
（スパークテクト）

感震ブレーカー



宮司: 甲田 吉孝 さま

近年、電気が原因と思われる文化財の火災が続いており、危機意識を持っていた。当社は世界遺産富士山の構成資産として重要であり、保全・継承するために新しい技術も取り入れていきたい。

PICK UP

「電気の防災」ハンドブック発行

電気が原因の事故やトラブルを分かりやすくお伝えし、対策できるハンドブックを発行しました。日東工業のイメージキャラクター”ソーライオン”が、身近なのに意外と知らない電気事故を解説しています。京都大学防災研究所の矢守克也博士からの防災アドバイスも掲載しています。

詳細はコチラ



B6サイズ(36頁)



お客様目線での 品質保証活動



品質保証室
品質保証課

川口 剛

私たちの想い

試験評価を通じて、
安全・安心な製品をお届けします。

品質保証室では、当社から出荷した商品の不具合情報
やお客様から寄せられた不満足のご意見を集約してお
り、商品不具合の原因調査や再発防止、現場の処置対応
などを業務として取り組んでいます。現場での調査や処
置、お客様へのご報告などに対応することで、時には厳
しいご意見をいただくこともあります。

品質保証室では、このような厳しいご意見、ご指摘など
も改善の機会として捉え、お客様がより「安心・安全」に
当社の製品をご使用いただけるには何をすべきか、品質
向上のために何をすべきかを常に考え、業務に取り組ん
でいます。



安全・安心・品質
Safety Relief Quality

お客様に満足していただける 優れた品質の製品・サービスを提供します。

お客様に満足いただける品質の製品・サービスを提供できるよう、社員一人ひとりが法令や社会規範を遵守し、安全性を十分に配慮した製品検証や品質保証活動に取り組んでいます。



品質統括部長 木下 宏之

2020
年度
実績

- 行為保証の活用および効果確認の強化
- 過去事例を活用した個人及び組織の品質意識の底上げ
- グループ会社の品質課題を共有した品質改善の推進

2021
年度
目標

- 標準化を推進し、仕組みの強化による顧客苦情の削減
- 品質予防手法の抽出力を強化し、設計品質を向上
- 有効かつ効率的なグループ会社の品質教育体制を整備

■ ヒューマンエラー予防

お客様からの不満のご意見を分析すると、ヒューマンエラーが大きな割合を占めています。ヒューマンエラー撲滅を目指し、新たな手法「行為保証」に取り組んでいます。行為保証とは目的を持った動作の保証をするという考えで、作業に拘りを持って、生産を行っています。

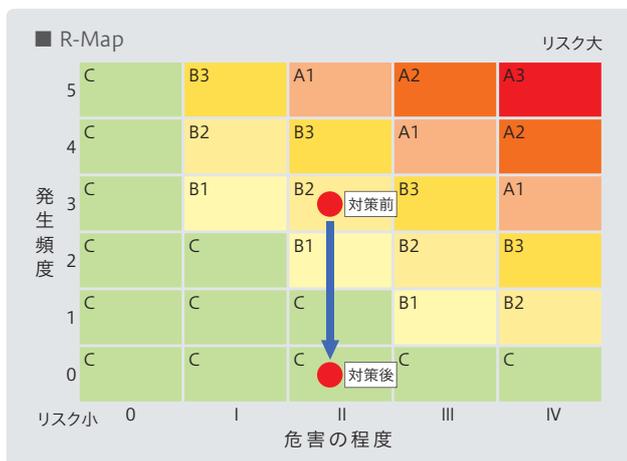


- できばえ管理からプロセス管理へ
- 品質ポイントの明確化と技術伝承
- 品質パトロールによる作業動作の確認

■ 製品リスク予防活動

お客様に安全・安心な、より高い品質の製品を提供するため、製造物責任法（PL法）などの国内外の法律や社会規格を守り、品質レベルの向上を図っています。

R-Mapによる分析手法を利用して、製品リスクアセスメントを実施し、リスクを下げる活動を行っています。

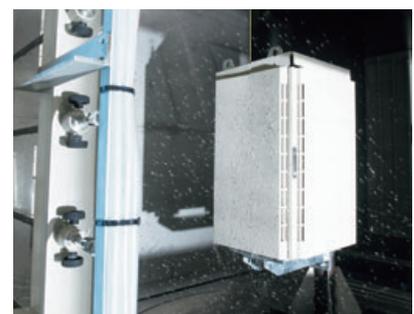


■ 充実した試験設備

耐震試験、風雨試験、日射試験をはじめとする最新の試験設備を使用し、製品の安全性や品質確認を実施しています。新製品開発時だけでなく、現行製品についても定期的に試験を実施し、信頼性の確認を行っています。



▶ 耐震試験



▶ 風雨試験



▶ 日射試験



～お客様に感動を!～

私たちの想い

全員営業の精神でお客様のニーズを
掴み、サービス向上を目指します。

私たちは、より多く、より幅広いお客様に感動を届けるために、お客様のニーズや課題を掴み、最適な商品・サービスをご提案しています。

今後も営業部門とスタッフ部門が連携し、「より簡単に」、「早く」、「安心・安全」な商品とサービスを提供できるように努めていきます。



配電盤事業企画室
配電盤事業企画課

門矢 誠



業務部
本社業務課

川島 彰人

CADを使わず簡単作図 WEB DRAWING SYSTEM
日東工業のWeb作図システム

QBSTA
005ケーシング内蔵制御盤システム

誰でも簡単に 6分以内
作図できるシステム 最短5分
24時間365日利用可能 SPEEDY AI箱選定
おまかせ選定 LBS-VCB受電両対応

CABISTA
004ケーシング内蔵制御盤システム

誰でも簡単に 5分以内
作図できるシステム 最短5分
24時間365日利用可能 SPEEDY AI箱選定
おまかせ選定 LBS-VCB受電両対応

RACSTA
003ケーシング内蔵制御盤システム

誰でも簡単に 5分以内
作図できるシステム 最短5分
24時間365日利用可能 SPEEDY AI箱選定
おまかせ選定 LBS-VCB受電両対応

NITTO KOGYO

より多く、より幅広いお客様に感動を届けるため、コア事業競争力のあくなき追求と新たな価値の創造に挑戦します。

お客様に感動を届けるには、お客様の期待を超える活動を行っていく必要があります。私たちに求められる役割やスキルは高度化・多様化していますが、一人ひとりが自らを高めることで、「日東工業ファンづくり」につながるよう一丸となって取り組んでいきます。



営業本部長 里 康一郎

2020
年度
実績

- 関連部門と連携したWebツールによる顧客の利便性向上
- マーケティング機能強化による顧客創造
- 防災・減災への貢献

2021
年度
目標

- 標準品ビジネスの拡大
- マーケティング機能強化による顧客創造
- 営業の総合力強化

Webツールによる顧客の利便性向上

『QBSTA(キュービクルスタ)』は、Web上で簡単に日東工業製キュービクルの作図ができるWebシステムです。操作に不慣れな方でも画面上でアシスト機能があるため、簡単にご利用できます。早い段階で図面が入手でき、寸法や質量が明確になるため、スムーズに関係者との打ち合わせができます。また、自動で図面が完成するため、依頼した後の待ちタイムロスを解消できます。設計の作業時間短縮に加え、打ち合わせ時間の短縮や在宅勤務への対応などに貢献するWebツールです。

マーケティング機能強化による顧客創造

プライベートボックスは、既存の商品を利用し新たな価値を見出した商品です。オフィスの空きスペースに置くだけで周りの声や音漏れ、視線などを気にせずWeb会議や電話に集中ができる快適なプライベート空間を実現します。この商品は新市場向け商品のため、新たな取り組みとして、特設サイトやWeb広告から集客するWebマーケティングを実施しています。



防災・減災への貢献

家屋内の火花放電を検出してお知らせする「放電検出ユニット(スパークテクト)」や、地震の揺れを感知し、ブレーカーを自動でOFFにする「感震ブレーカー」など、電気火災を未然に防止する対策について幅広いお客様に提案活動を行っています。また、電気に詳しくない方にも電気の防災・減災の意識を高めていただけるよう、電気の安全な取り扱いについて分かりやすく解説した「電気の防災ハンドブック」を発行しました。今後も営業活動を通じて、防災・減災対策の普及に貢献していきます。



▶ 放電検出ユニット
スパークテクト



▶ 電気の防災ハンドブック



お客様の大切な設備を守る 新たな製品を創造

私たちの想い

過酷な自然環境にも耐える製品で、
お客様のインフラ設備に
安心と安全を提供します。

近年、大型台風やゲリラ豪雨などの異常気象が多発しています。そこで自然環境を模擬し、風と雨が同時に屋外キャビネットに与える影響を評価する「風雨性能評価基準※」を制定しました。今回開発した「耐風雨キャビネット タフテクト」は、その評価基準における最高レベルの性能を満足したキャビネットです。タフテクトは、継ぎ目のない発泡パッキンと外周パッキンの2重構造により、業界最高レベルの風雨性能(WP50H)とIP性能(IP66)を実現し、日東工業における風雨対策キャビネットシリーズを牽引しています。

※JSTM W 6401「キャビネット及び宅配ボックスの水漏れ試験方法(送風散水試験法)」



機材設計部
キャビネット事業推進
第二課

小林 秀圭 南部 幸太郎



▶ 耐風雨キャビネット



▶ 風雨性能試験風景



▶ 設置例

潜在的な課題やニーズを発掘し、 社会に必要とされる製品開発

わたしたち開発部門は、「お客様へ提供できるモノは何なのか?」「本当にお客様が求めているコトは何なのか?」、原点を見つめなおし、顕在化されているものだけではなく、潜在的な課題やニーズを発掘していきます。「日東工業の商品を使って良かった」とお客様にご満足いただけるよう、社会の持続的発展に貢献できる製品開発にチャレンジします。



開発本部長 箕浦 浩

2020
年度
実績

- イノベーション創出につながる環境の醸成
- 長期的視点でコア人材を育成する仕組みを構築
- グリーンフィット3件

2021
年度
目標

- 開発力・技術力の強化
- 開発戦力としての人材育成
- 環境に配慮した製品開発体制の継続

■ オフィスに快適で安全な個室空間を提供するプライベートボックス

近年の働き方改革など社会環境の変化により、リモートワークやWeb会議が増加しています。「プライベートボックス」は、ロビーやエントランス、オフィスの空きスペースに置くだけで周りの声や音漏れ、視線などを気にせず、Web会議や電話などに集中して作業ができる快適なプライベート空間を実現します。

プライベートボックスは、快適なスペースを提供するのみでなく、ボックスに入る人の安全を守るための「防火性」、「耐震性」や「換気性」も備えています。



▶ プライベートボックス

▶ 設置例

■ 歴史的文化財の電気火災未然防止に貢献

本殿などが国宝に指定されている久能山東照宮(静岡県)に業界初となる「放電検出ユニット(スパークテクト)」と「感震ブレーカー」を設置しました。防災製品の普及を通して電気火災の未然防止に貢献することで、歴史ある建物などの保全・継承や地域社会の安全な暮らしのサポートを進めています。



▶ 久能山東照宮 御社殿(国宝)

▶ 設置例

■ 環境配慮設計

製品開発時に、省エネルギー、小型化、軽量化、リサイクル性や含有化学物質などの環境影響について評価しており、環境負荷を低減する「環境にやさしい製品開発」を進めています。



当社の環境基準を達成した製品を「グリーンフィット」に認定しています。「グリーンフィット」は、製品の小型化、軽量化、省資源、リサイクル可能率の向上、環境汚染物質の撤廃などをテーマとして環境負荷の低減を実現した製品です。

耐風雨キャビネット



ラックオプション
L型レール・スリット付台板セット
簡単取付タイプ



ステンレス製ルーバー





個性尊重の精神に基づいた 企業活動



人事部 人事課
林 和広

私たちの想い

**社員と会社の双方にとって
価値を見出すことのできる制度設計、
環境づくりを推進していきます。**

人事課の仕事は勤怠管理・給与計算・健康管理・労使関係など、「ヒト」に関わる仕事です。

最近では聞き慣れるようになった「ワークライフバランス」や「働き方改革」も「ヒト」に関わる大きなテーマであり、社員一人ひとりの活躍に欠かせないと考えています。当社では昨年度に法改正された「子の看護休暇・介護休暇の時間単位取得義務化」において、中抜けを認める法律以上の施策を取り入れ、育児・介護の両立支援の拡充に取り組んでいます。

また、コロナ禍において社員が安心して働けるよう「在宅勤務制度」を早期に導入し、新しいワークスタイルの確立にも注力しています。常に激しく移り変わる社会情勢のなかで、変化に柔軟に対応できる企業であり続けられるように、今後も「働きがい」と「働きやすさ」の両立を目指し、社員と会社の双方にとって価値を見出すことのできる制度設計、環境づくりを推進していきます。



一人ひとりの個性を尊重し、 能力を活かす職場環境づくりを目指します。

人財こそ企業活動の源です。仕事を通じて個々の専門性や人間形成に磨きをかけ、社内はもとより社外またはグローバルに活躍できる人財を育成していきます。一人ひとりのワークライフバランスを大切に、いきいきと働くことができる職場環境づくりに取り組んでいます。



人事部長 佐藤 嘉高

2020 年度 実績

- 社員満足度意識調査の実施
- コロナ禍における働き方改革施策実施
⇒ 在宅勤務制度の導入など

2021 年度 目標

- 時間外労働の低減
- 社員満足度調査結果に基づく、具体的施策実施
- 多様な働き方に向けた、勤務制度の整備・拡充

社員エンゲージメントの向上

2023中期経営計画では、人財基盤の重点目標として「社員エンゲージメントの向上」を掲げています。そのための活動施策として、働きがい改革、ダイバーシティの推進、人財育成の強化を進めていきます。中期経営計画の基本方針である【モノづくり、ヒトづくり、ファンづくり】のなかでも、一番重要なのはヒトづくりです。働きがい改革と教育を通じ、意欲高く、変化に対応できる強い人財が生まれる風土を作ります。



▶ 2021年度 本社・名古屋工場 入社式

活動施策

働きがい改革	社員満足度調査の結果をもとに、働く意欲が向上し、仕事へのモチベーションがアップする環境づくりを進める
ダイバーシティの推進	性別、国籍、年齢などに関係なく、すべての社員が個性を活かして働ける、活気ある職場にする
人財育成の強化	社員の能力や個性、経験値などをデータベース化し、個々の適正に合った職務につけるシステムづくりを進める



Employee Engagement

人財育成

「企業は人なり」の理念のもと、「正直な心と誠実な姿勢を貫く」、「価値創造の追及に努める」を行動指針として、人財開発に取り組んでいます。近年のコロナ禍においては受講者の移動負担などを考慮し、従来型の集合研修スタイルからオンライン研修スタイルを試験導入するなど、社員の就労環境に柔軟に対応できる教育・研修プログラムの拡充を進めています。

教育項目	目的	研修名
階層別教育	育成の基本となる研修、階層の役割認識を行います	(新人)新入社員研修、フォローアップ面談、(係長・主査)新任係長・主査研修、(課長・所長)新任所課長研修、(部長)新任部長研修
キャリア開発教育	個の自律成長支援(仕事と生活、自分のキャリアを見つめる)を行います	(入社4年目)4年目研修、(50歳)キャリアデザイン研修、(59歳)ライフプランセミナー
共通教育	社内外にて共通に求められる知識の習得を行います	企業倫理、品質、環境、安全・衛生、5S、改善活動
専門教育	配属された職種別に必要とされる知識・技能の習得を行います	部門内教育・特定教育
自己啓発	自己のスキルアップを目指す社員を支援します	語学留学、ビジネススクール、通信教育、その他



技術と知識の研鑽の先にある
「ものづくりの未来」に向けた
飽くなきチャレンジへの決意



生産技術部
技術開発課IoT推進係

中野 友彰 鈴木 恒也

私たちの想い

生産DXに向けた 飽くなきチャレンジ

私たちが初めてIoTというワードを耳にしたのは入社したての2015年4月でした。

当時はドイツが進める第四次産業革命(Industry4.0)が世界中で注目を集め、それとリンクするように国内ではIoTが大きなトレンドとなっており、私たちもIoTについて本格的に調査を開始するようになりました。

しかし、当時はまだ専門的な技術者や組織がない状態のため、IoTに関する知識も技術もほとんどなく、諸先輩も含めIoTを基礎から学ぶ必要があり大変苦労したことを憶えています。

あれから6年、たくさんの時間がかかりましたが、「trial and error」で不屈の精神を養い、多くの人に支えられながら専門知識を学び、また経験し、以前に比べ各段にレベルアップを果たしました。

今では生産本部内でIoT推進の中核を担うまでとなり、多くの方に期待されるまでに成長することができました。

今後は新工場や事業戦略などの大きなタスクフォースに参画し、IoT推進と共にDX(Digital Transformation)に向け「飽くなきチャレンジ」を決意しています。

「顧客価値創出に向けたQCD」 お客様の満足を得るものづくり

最適な品質、コスト、納期を実現するために「長年培った生産ノウハウと生産技術力の融合」ならびに「品質と生産性の両立」にこだわり続けていきます。そして地球環境に配慮したものづくりを進めて、お客様の新たな価値創出に向け挑戦し続けていきます。また、お客様によりレベルの高い製品を提供するには、当社のみならず、お取引先様のご協力は不可欠です。良きパートナーとして相互発展を図り、顧客満足創出のため、お取引先様と一体となったコンプライアンス活動を推進しています。



生産本部長 小牧 邦博

2020
年度
実績

- 海外を含めたグループ全体での生産(購買含む)体制を構築
- お客様に喜んでいただける品質・コスト・スピードの実現
- 現場力の強化
- 人材育成
- 需要・戦略に合わせた柔軟な生産体制の構築

2021
年度
目標

- お客様に信頼され常に選んでいただけるモノづくり集団であり続ける
- 現場力の強化
- 人材育成
- 需要・戦略に合わせた柔軟な生産体制の構築

公正・公平・透明な取引

- 購買部門では「法令遵守・企業倫理」を重視し、当社独自で作成した「購買部門行動計画」に基づき、調達活動に取り組んでいます。
- お取引先様の「品質・価格・納期・技術力」および、「環境への配慮・保全」などを総合的に判断して、「公正・公平な評価・選定」を行い、透明性のある取引を行っています。
- 購買担当者は、必要な知識や関連法規の習得に努めていますが、特に下請法教育については、中小企業庁委託「下請取引改善講習会」の受講を義務付けるなど、さらなるコンプライアンス向上を目指しています。

お取引先様との信頼関係

正しいコンプライアンスの実施には、お取引先様とのコミュニケーションは不可欠だと考えます。そのため購買部門は、Face To Faceでの意思疎通を図るため、「賀詞交換会」や「取引先監査」を定期的に行っています。これらの機会は、コンプライアンス活動を維持確認するのみでなく、お取引先様との信頼関係構築に繋がっています。



技術・技能伝承の取り組み

長年培った「コア技術・技能」を伝承していくため、「ラーニングセンター」の機能的な運営に努めています。競争力の源泉でもある「現場力・技術力」を高め、お客様からの信頼ならびに満足をいただけるよう、努めています。

ラーニングセンターの役割

- 1 会社全体の技術レベルのベースアップ維持
- 2 技能・ノウハウの伝承と次世代の人材育成
- 3 社員間交流による知識の創出



▶安全体感装置による【安全教育】



▶5S・整理整頓トレーニング



▶モノづくりトレーニング

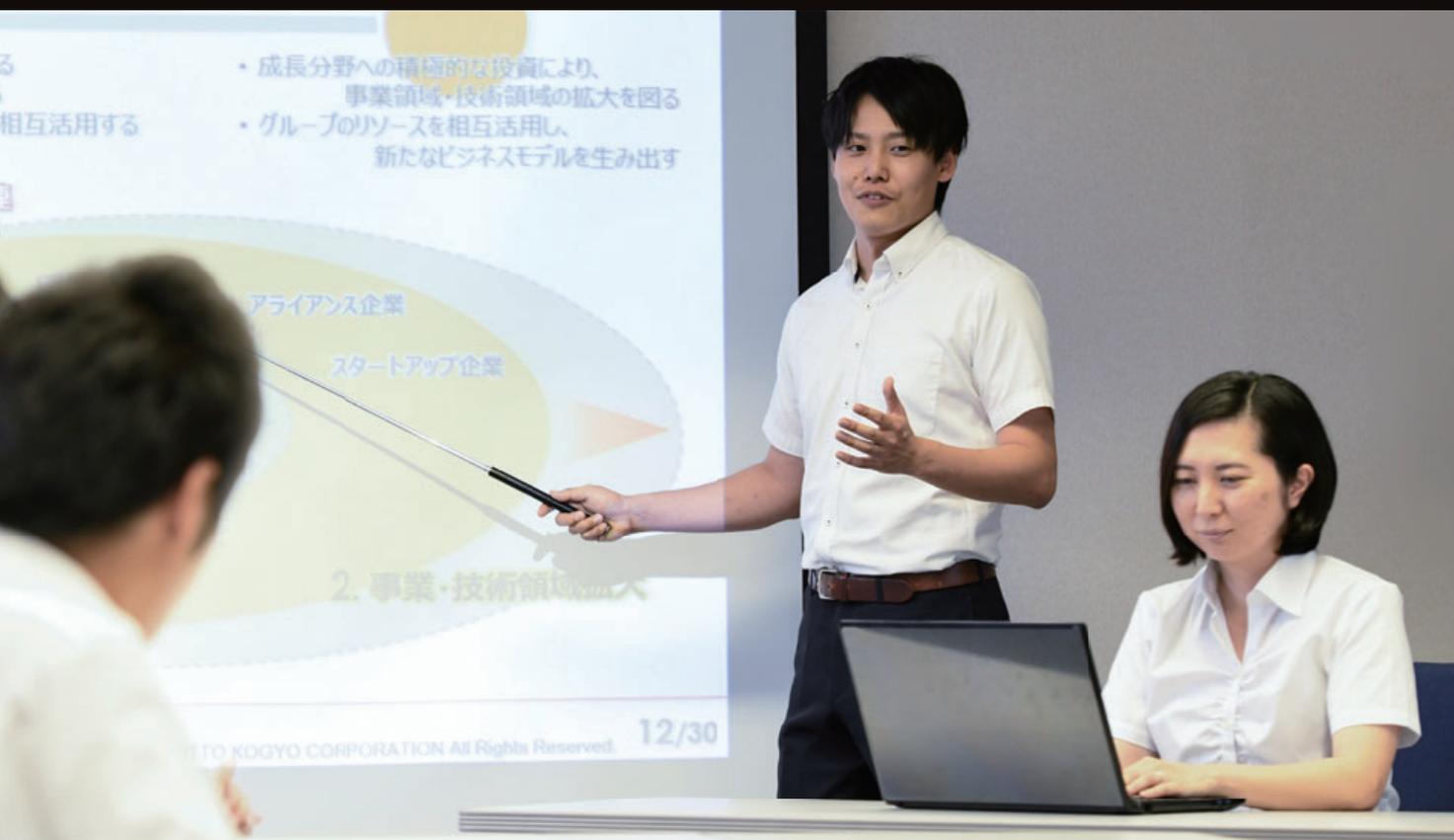
グリーン調達・環境への配慮

「低環境負荷への取り組み・地球環境に配慮した製品化・含まれる有害化学物質への関心」は年々高まる傾向にあります。

当社では、環境取り組みへの基本的な考え方と、お取引先様へのご協力をお願いする「グリーン調達ガイドライン」を定めて、さらなる顧客満足向上を目指しています。

また、RoHS(特定有害物質使用制限)指令はもちろんのこと、「GPSSI(グリーン調達調査共通化協議会)に準拠した部材への切替を推進するとともに、廃棄物減量化の推進や、輸送による環境負荷削減(アイドリングストップ・輸送の合理化)など、お取引先様と一体となって環境活動に取り組んでいます。





株主価値を高める 経営を実践

私たちの想い

適時適切な情報開示で株主・投資家の皆様との信頼関係を構築する。

企業の情報開示は、株主・投資家の皆様とのコミュニケーションにおいて重要な役割を果たしています。昨今では、コーポレートガバナンス・コードの充実化などに伴い、より透明性の高い情報開示が求められるようになりました。当社は、株主・投資家の皆様と強固な信頼関係を構築するために、求められる情報を適時適切に発信できるよう努めています。今後も情報開示を通じて株主・投資家の皆様に誠実に向き合い、より多くの方々から信頼いただける企業を目指して邁進していきます。



総務部 総務課

沖 誠人 水谷 由美子



株主・投資家との対話を大切に

当社の強みや将来性を一人でも多くの方々にご理解いただけるよう、財務・非財務の情報を分かりやすく開示することを常に心掛けています。

株主総会をはじめ、会社説明会や決算説明会にて株主・投資家の皆様と直接対話する機会を大切に、いただいたご意見を真摯に受け止め経営に反映させることで、当社の持続的成長に繋がっていきます。



総務部長 真野 貴明

2020年度実績

- 2021年3月期 配当金66円(中間20円、期末46円) 連結配当性向30.3%(11期連続配当性向30%以上)
- 機関投資家 One on One ミーティング実施(各四半期)
- 機関投資家・アナリスト向け決算説明会(第2四半期・通期)の開催
- 個人投資家向け会社説明会(Web配信)の開催

2021年度目標

- 2022年3月期 配当金50円(中間25円、期末25円) 連結配当性向30.7%
- 機関投資家 One on One ミーティング実施(各四半期)
- 機関投資家・アナリスト向け決算説明会の開催
- 個人投資家向け会社説明会(Web配信)の開催

IR活動の充実化

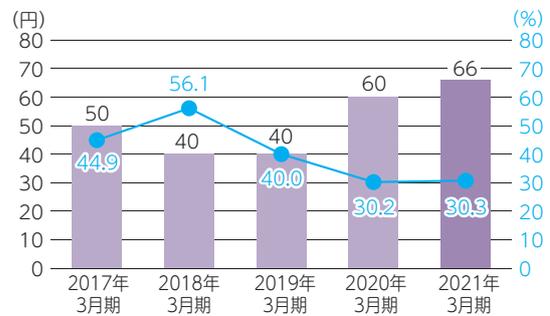
株主・投資家の皆さまとのコミュニケーションを活性化するために、IR活動に注力しています。2020年度は、コロナ禍においても感染拡大防止策を講じながら、多くの方に当社のご理解いただくためにWeb配信を用いた会社説明会を開催しました。このような新たな試みも取り入れながらIR活動の充実化を推進していきます。



株主還元

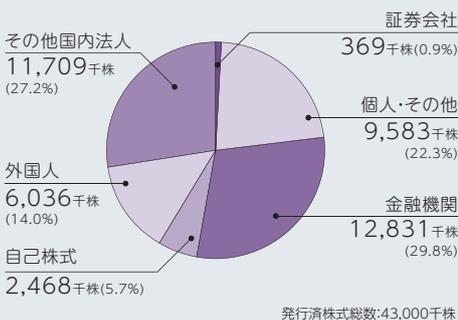
株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置づけています。利益配分につきましては、株主の皆様への安定的な配当を維持することを基本に、連結配当性向30%を目標に連結純資産配当率等を勘案して実施しています。また、必要に応じて自己株式の取得・消却など資本効率向上のための諸施策を実施し、株主の皆様に応えています。

● 1株当たり年間配当金／連結配当性向の推移
■ 1株当たりの年間配当金 ● 連結配当性向

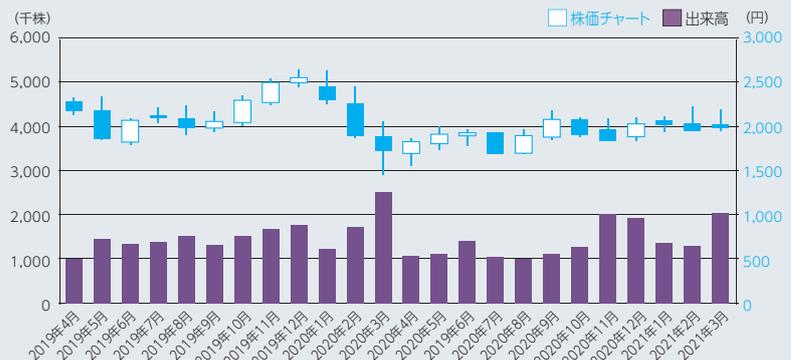


株式の状況

● 所有者別分布の状況(2021年3月31日現在)



● 株価チャートと出来高の推移



※四捨五入の関係上、100%とならない場合があります。



新しい価値を作り出すことで
社会へ貢献。



東北日東工業
総務課 総務係

小原 大輝

私たちの想い

地域環境保全活動を通じ、 自然保護の大切さを知った。

私が所属する東北日東工業総務課(施設担当部門)では、主に工場の設備管理の他CO₂及び排出物の削減にも取り組んでいます。さらに地域貢献活動として、東北日東工業では「企業の森づくり活動」と題し、花巻市にある宮沢賢治記念館の緑化整備を6月と10月の年2回行っています。

活動は暑い中での作業となり大変ですが、宮沢賢治記念館の職員の方々や観光客の皆さんに声を掛けていただいた時などは、「活動していてよかったな」とやりがいを感じています。

私はこの「企業の森づくり活動」を通して、事務局として運営の難しさ、環境保全活動の大変さを実感しました。今後は、さらに多くの方々に参加していただくために事務局として試行錯誤しながらより良い活動にできるよう努めていきます。



作業風景

美しい地球を 次世代へつなぐためにできること

今、「持続可能な社会(明るい未来)」を目指す上で、

① 脱炭素社会 ② 循環型社会 ③ 自然共生社会 を構築することが、重要とされています。

当社では、環境方針「環境に貢献する新たな価値をつくり出し、美しい地球を次世代へつなぐ」とし、地球環境に配慮した製品づくりを進めることで、持続可能な社会発展に貢献しています。



施設環境室長 熊崎 雅一

2020
年度
実績

- CO₂削減/2016年基準原単位比14%削減
- 排出量の削減/2016年基準原単位比12%削減
- エコ製品認定率/75%
- 有害物質の使用規制/3製品がCMS(製品含有化学物質管理)基準に適合

2021
年度
目標

- CO₂削減/2020年度基準原単位比1%削減
- 排出量の削減/2020年度基準原単位比0.5%削減
- エコ製品認定率/70%以上

自然共生社会を目指して

私たちの事業活動は製品を製造する上で、材料・水といった自然の恩恵を受けて成り立っており、その事業活動によって自然を破壊してしまっては持続可能な社会を構築することはできません。当社では、以下の地域貢献を進めています。

「企業の森づくり活動」の取り組み

東北日東工業(株)

2012年に岩手県・花巻市・東北日東工業の3者間で「企業の森づくり活動」の協定を締結して以来、毎年森林保全活動を実施しています。2020年度は、胡四王山の草刈りなどを2回実施しました。2017年度からは、エリアを広げ緑化保全活動も進めており、宮沢賢治が愛した花巻市の美しい自然環境を次世代に残せるよう、今後も活動に取り組んでいきます。



法令遵守への対応

事業活動を進めるうえで、法令遵守は企業の社会的責任の1つです。法遵守を進めて行くことで、リスクへの予防に努めています。

フロン排出抑制法への対応

全社

私たちが使用するエアコン、冷蔵庫などには冷媒として代替フロン類が使われています。フロン排出抑制法では冷媒漏洩の防止や早期発見を目的に、第一種特定製品に指定された設備の点検が義務付けられています。当社でも法に従い定期的に点検を行い、漏洩がないか確認しています。代替フロン類はCO₂の数百〜一万倍以上の温室効果があるため、少しの漏洩でも社内のCO₂削減活動をふいにしかねません。地球温暖化抑制のためにも法令点検を通し、今後も設備の保守整備に努めていきます。



脱炭素社会を目指して

私たちは地球温暖化の抑制を図り、脱炭素社会を目指すために、以下の活動を進めています。

- クリーンエネルギーの提供
- 省エネに寄与する設備の導入
- 業務改善によるエネルギー使用量の削減 など

クールビズ・ウォームビズの実施

全社

環境省が後援する国民運動「COOL CHOICE」では、主要施策の1つとして、室温の適正化とその温度に適した軽装などの取り組みを促す「クールビズ」を推進しています。当社でも、クールビズ、ウォームビズを推進しており、クールビズ実施期間中にお越しのお客様へは、ノーネクタイ、ノージャケットを推奨しています。



循環型社会を目指して

限りある資源を大切にするために、私たちは以下の排出物削減に取り組み、循環型社会の構築に寄与していきます。

- 2003年度に達成したゼロエミッションを維持
- 分別の徹底による資源の有効活用
- 廃棄物処理業者を定期的に訪問し情報収集
- 業務改善による排出物の発生抑制 など

産業廃棄物処分場の視察

全社

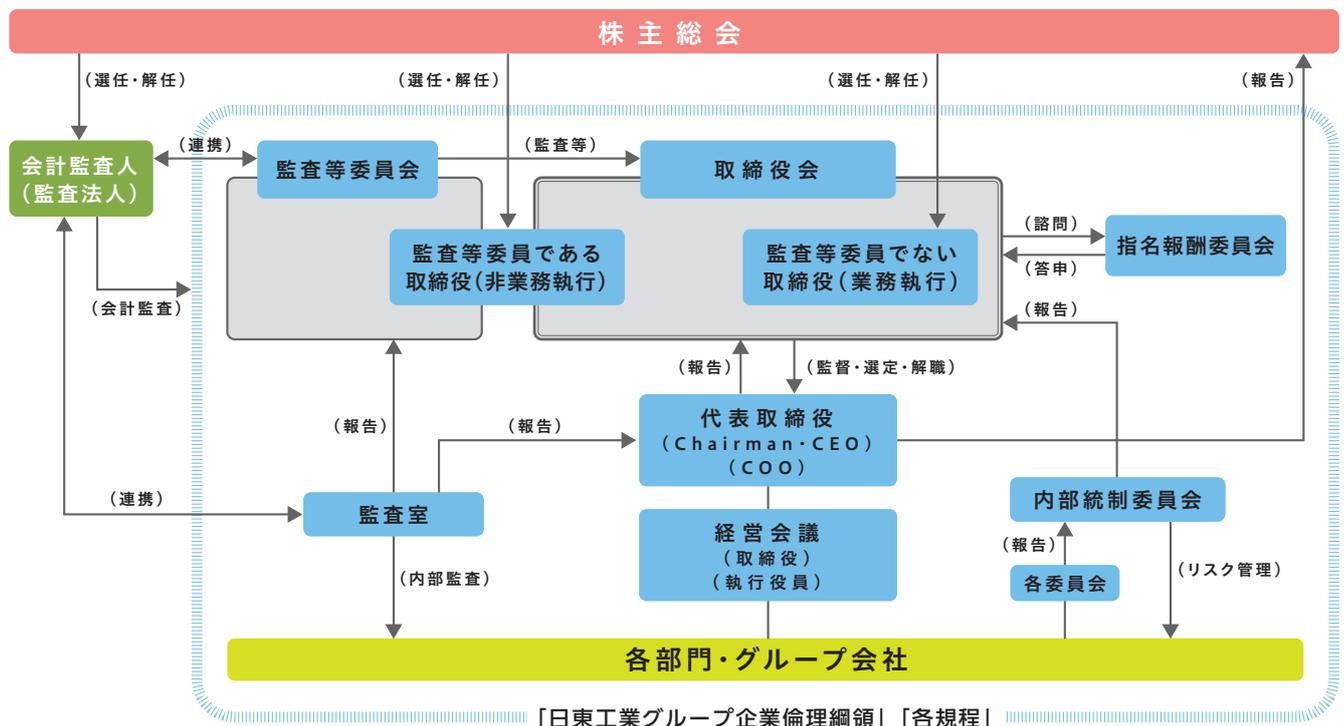
不法投棄が社会問題化している現在、産業廃棄物処分量および運搬業の取引先と安心した信頼関係を築くことが重要です。当社では社内認定を受けた社員が産業廃棄物処分場を定期的に訪問し、所定のチェックシートに従って処分状況・ manifests 管理状況・5S管理状況などを確認、評価しています。当社が引き渡した産業廃棄物が適正に処理されていることを確認するとともに、環境負荷低減に努めている取引先との付き合いを深めています。



企業ガバナンス

■ コーポレート・ガバナンス体制の概要

当社は、良心に基づいた誠実な行動と公明正大な経営を常に心がけ、ステークホルダーとの信頼関係を強化していくことを大切に、健全でかつ透明性が高く、経営環境の変化に迅速に対応できる組織体制を構築します。また、公正で規律あるコーポレート・ガバナンスを構築し、持続的な成長および長期的な企業価値の向上を目指します。



当社は、取締役による多面的な検討と的確な意思決定および業務執行を行う一方、適正な監視・監督を図る経営体制と、コーポレート・ガバナンスの充実を図ることができる企業統治体制として最適だと考える監査等委員会設置会社を採用しています。また、その補完機関として、経営会議、指名報酬委員会、内部統制委員会を設置しています。

1 | 取締役会 |

取締役会は、取締役会規程に基づき取締役6名(監査等委員である取締役を除く。)および監査等委員である取締役5名(うち社外取締役4名)により構成されています。毎月1回の定期開催のほか、必要に応じて臨時に開催され、法令、定款または取締役会規程に定める重要事項の決定や、重要な職務の執行状況報告およびその監督を行います。社外取締役4名を含む監査等委員5名全員の出席のもと、公正・中立な立場より経営上の重要事項について積極的に助言や意見を求め、監視・監督機能の強化と円滑な運営に努めます。

2 | 監査等委員会 |

監査等委員会は、監査等委員会規程に基づき監査等委員である取締役5名(うち社外取締役4名)により構成されています。毎月1回の定期開催のほか、必要に応じて臨時に開催され、職務の状況報告や情報共有を行い、ガバナンス機能の強化に努めています。また、監査等委員による重要な会議への出席や会社の業務および財産の状況に関する調査等を通じて、取締役会決議その他における取締役の意思決定状況および監督業務の履行状況等の監視・監督、検証を行います。監査の実施状況とその結果については定期的に取締役社長(COO)および取締役会に報告され、必要があると認めるときは助言または勧告その他状況に応じた適切な措置を講じます。

3 | 経営会議 |

経営会議は、取締役会で選定された取締役社長(COO)の諮問機関として位置づけられ、業務執行取締役、執行役員、常勤監査等委員等で構成されています。経営上の重要事項を審議する場として組織し、原則毎月2回開催され、経営課題や重要事項に対する多面的な協議、検討が行われており、上記の取締役会と併せて機動的、効果的な業務運営を目指しています。

4 | 指名報酬委員会 |

指名報酬委員会は、取締役会の諮問機関として位置づけられ、委員は、取締役会の決議により選定された取締役3名以上で構成し、その過半数は独立社外取締役としています。取締役の指名や報酬等に関する経営上の重要事項を審議する場として組織し、原則年4回開催され、取締役会より諮問のあった事項に対し審議・答申を行います。上記の取締役会と併せて、取締役の指名や報酬等に関する手続きの公正性、透明性、客観性を強化することで当社コーポレート・ガバナンスの充実を目指しています。

5 | 内部統制委員会 |

内部統制委員会は、内部統制規程に基づき内部統制全体を統括する組織として位置づけられ、業務執行取締役、一部の執行役員、常勤監査等委員等で構成されています。原則年4回開催され、内部統制システム全般の運用について協議・検討・報告が行われており、内部統制の効率性と有効性の向上を目指しています。

■ コンプライアンスは持続的な発展のための大前提

日東工業は設立以来、優良な製品とサービスを創出することで、株主をはじめ販売先や仕入先、地域の皆様との信頼を築いてきました。この信頼は、多くの先輩方による誠実な行動と日々のたゆまぬ努力の積み重ねによって作り上げた宝物です。この宝物は日東工業グループにもしっかりと受け継がれています。これらを一層高め、後世に伝えていくことは、日東工業グループに帰属する私たちの責務です。不祥事を起こせば、これまで築き上げてきた日東工業グループのブランド価値、信用・信頼を一気に損なうことになりかねません。コンプライアンスの徹底は、日東工業グループが持続的に発展していくために欠くことのできない大前提であると考えています。

■ コンプライアンスの浸透活動

日東工業グループの全役職員が共通の価値観をもち、コンプライアンスについて理解、実践していけるよう「日東工業グループ企業倫理綱領」を作成し、全役職員に配付しています。また、毎年「企業倫理職場会」を開催し、コンプライアンスについて話し合う場を設けるなど、個人レベルまで浸透させる活動を行っています。



■ 通報窓口の設置

企業倫理綱領に反する行為を早期に発見し、解決するために、グループ全体の共通窓口として「ヘルプライン」と海外対応も可能な社外相談窓口「社外ホットライン」を設置しています。相談したことにより不利益を被ることがないこと、また相談内容が外部に漏えいすることがないように徹底し、公正な調査のもと、問題の改善や再発防止策を策定しています。

■ 内部統制システムの構築

取締役会で決議した「内部統制システムの基本方針」に基づき、役職員およびすべての業務従事者により内部統制システムの構築を図っています。

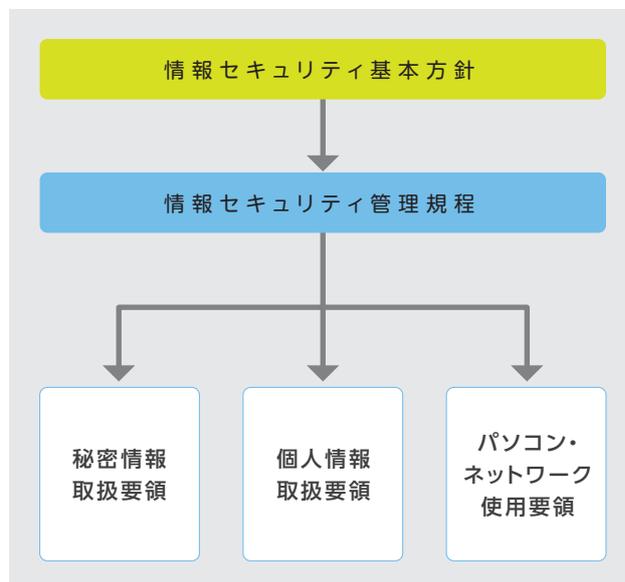
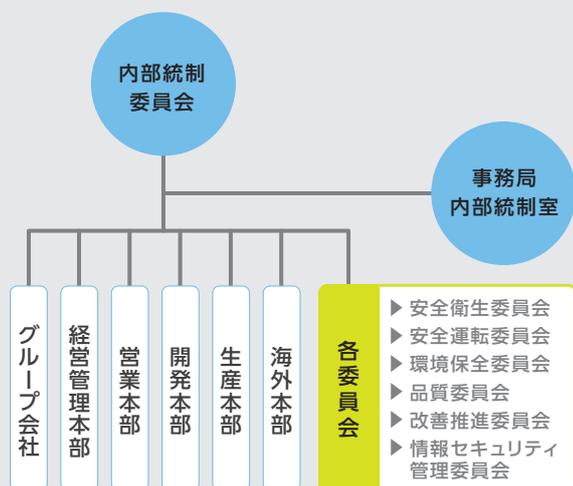
グループ全体の内部統制を統括・推進する組織として「内部統制委員会」を設置し、下部組織として「安全衛生委員会」「安全運転委員会」「環境保全委員会」「品質委員会」「改善推進委員会」「情報セキュリティ管理委員会」などを設置するとともに、各本部を通じてコンプライアンス遵守、業務の適正性・効率性、リスク管理、財務報告の信頼性を確保するための体制を整備・運用し、さらなる内部統制の充実を図っています。

■ 情報セキュリティ管理

情報管理においても顧客や取引先の信頼に応えることは、何より大切なことです。

情報には、流出、盗難、紛失などのリスクが常に存在します。そのため当社では、顧客や取引先からお預かりした情報はもとより、社内の機密情報を安全かつ適切に管理・運用するために情報セキュリティ基本方針の策定および情報セキュリティ管理委員会の設置など情報セキュリティ対策を実施しています。また、情報セキュリティ管理レベルの向上を図るため、課長以上にeラーニングによる社内教育を実施するとともに、定期的に情報セキュリティ監査を実施し、職場での意識向上に努めています。

■ 内部統制委員会 組織図



社会貢献① ～地域に”寄り添う”企業へ～

日東工業では、地域社会の一員として地域に密着した社会貢献活動を実施しています。未来を担う子どもたちへの教育や、地域の方々が住みやすいまちづくりを実施することで、さまざまなステークホルダーの満足度向上を図り、企業価値を高める活動に取り組んでいます。

NITO が取り組む理由

- 子どもたちへの理科教育
- 住みやすい“まち”づくり
- 地域社会とのCONNECT!
- 地域を元気に活性化!

Pick Up!

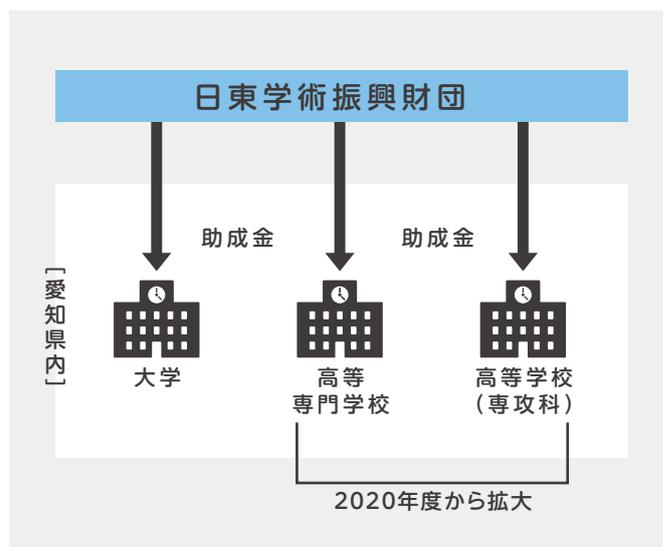
公益財団法人 日東学術振興財団

日東学術振興財団とは？

1984年に日東工業の創業者である加藤陽一氏を中心に「研究者の手助けを通じて地域のお役に立てれば幸い」との想いから設立されました。愛知県内の大学で独創的な研究を行う研究者と、高等学校の専攻科および高等専門学校等の研究プロジェクトに助成を行っています。

事業

- (1) 研究者への助成
- (2) 研究者の海外派遣
- (3) 研究プロジェクトへの助成



助成とはどのようなものか？

対象を愛知県内とすることで密度を濃くしており、工学・医学・法学・経済・経営・芸術と幅広い分野の研究者を助成しています。

1995年には、ノーベル物理学賞を受賞した名古屋大学の天野浩教授も助成を受けられています。

日東学術振興財団は、地域の学問・芸術の発展に貢献したいとの想いから助成を続けております。

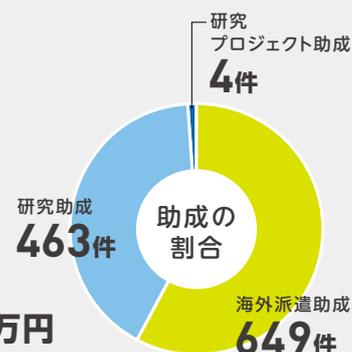
2020年度の助成実績

- 研究助成者数 …… 49人
- 助成金額…4,830万円
- 海外派遣助成者数 …… 9人
- 研究プロジェクト助成件数…4件

助成実績

● 総助成テーマ数
1,116件

● 総助成金額
5億4,890万円



歩道橋ネーミングライツ取得

本社・名古屋工場【愛知県長久手市】

地域社会への貢献を目的に、愛知県長久手市の歩道橋（公園西駅歩道橋）のネーミングライツを取得しました。「日東工業ソーライオンブリッジ」と名付け、地域の皆さまに親しみを持ってもらえるように努めています。



美化清掃活動

栃木野木工場【栃木県下都賀郡野木町】

従業員約30名の有志により、工場周辺の清掃活動を行いました。毎年、落葉時期になると工場周辺の歩道には落ち葉がたまりやすくなります。歩道はジョギングやウォーキングする方が多く、地域の安全に貢献しています。



企業の森清掃ボランティア

東北日東工業【岩手県花巻市】

宮沢賢治記念館の環境を守るため、毎年2回活動をしています。草刈り機の安全講習を実施したうえで記念館の敷地内の草刈りをしています。宮沢賢治ゆかりの地を継承するため、積極的に取り組んでいます。



虹の松原クリーン大作戦

唐津工場【佐賀県唐津市】

浜崎森林浴の森公園で日本3大松原の1つを害虫などから守るために、労働組合員とその家族で環境保全活動を実施しました。2014年から続けており、積極的に地域交流にも取り組んでいます。



長久手コレクション秋2020

本社・名古屋工場【愛知県長久手市】

愛知県長久手市香流川緑地で、川沿いをライトアップして地域の皆さまを心癒せるイベントに協賛しました。歩道にはプロジェクションマッピングも活用し、本社がある地域の活性化に貢献しています。



岩手県知事賞を受賞

東北日東工業【岩手県花巻市】

「令和2年度認定職業訓練及び技能検定功労者等知事表彰式」において、岩手県知事賞を受賞しました。この賞は、毎年従業員の技能検定の推進に貢献し、岩手県の産業界の発展に貢献したことが認められたものです。



社会貢献② ～アートのある社会生活を～

日東工業では、創業者の「働く人の人生の大部分を占める会社を、実りある生活環境にしたい」との想いから、国内全工場・営業所の随所に絵画や彫刻などの芸術作品を配置しています。
また、各工場の敷地内には植栽など緑も豊富であり、「公園工場」として社会環境と自然環境の融和に取り組んでいます。ここでは各工場に配置している芸術作品の一部を紹介します。

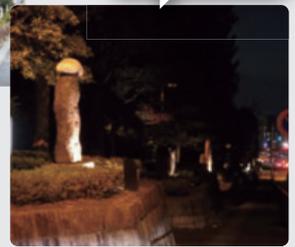
Pick Up!

彫刻の道

地域の人たちとの触れ合いの場として、1991年に本社・名古屋工場の北側道路沿いにオープンギャラリーをつくりました。愛知県立芸術大学の先生や学生が手がけた彫刻作品10点を展示し、地域の人たちが身近に芸術鑑賞できる憩いの場を提供したいという想いから、社員募集で「彫刻の道」と命名されました。



夜間は
ライトアップ!



本社・名古屋工場



海辺の女
(池田満寿夫作)

菊川工場



少女
(鈴木政夫作)

磐田工場



Space-A
(小池郁男作)

掛川工場



道標
(小池郁男作)

中津川工場



虚空
(小池郁男作)

唐津工場



風の色
(柴田鋼造作)

栃木野木工場



ヴァイオリン
(中垣克久作)

東北日東工業



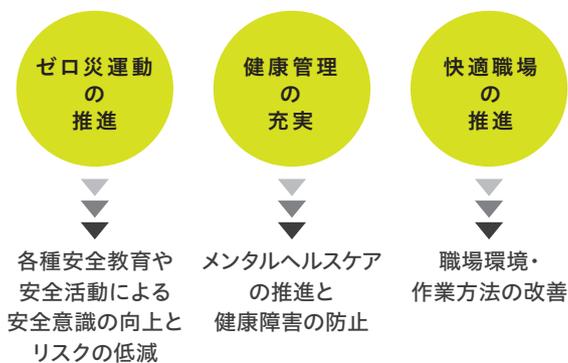
風に舞う
(鷺見香治作)

安全・安心な職場づくり

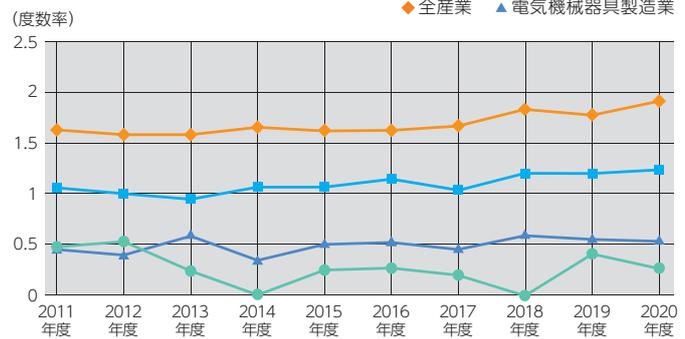
本社の「安全衛生総括者」が中心となって安全管理体制を整備し、従業員がいきいきと安心して働ける快適な職場づくりを目指しています。

安全衛生への取り組み

「安全を築き、健康を保つ」をスローガンに、従業員の安全と健康を守るよう安全衛生活動に取り組んでいます。



業務上災害の度数率



度数率…100万時間当りの死傷者数
 ※日東工業グループの数値は派遣社員含む

安全衛生への取り組み

危険予知訓練(KYT)、ヒヤリハット報告などの安全活動による従業員の安全意識の向上、リスクアセスメント活動によるリスクの低減、安全衛生・5S巡視、産業医巡視、経営トップ層による巡視などの職場巡視活動、メンタルヘルス教育の実施など、健康で安全に働ける職場づくりに努めています。



▶ 化学物質管理講習会



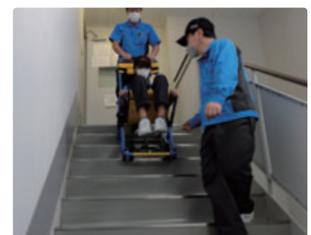
▶ 産業医巡視

交通安全への取り組み

地域住民の安全と社員の交通マナー向上のため、毎月10日に各工場周辺で交通立番を実施しています。また、車通勤の社員や車両運転責任者へ年4回の運転危険予知トレーニング動画の配信、優良自動車運転者表彰、全社用車にテレマティクス車載器を装着して車両の速度超過・急発進・急減速などの運行状況を把握するなど、安全運転確保に取り組んでいます。

災害対策への取り組み

大規模災害などの緊急事態に備え、事業資産の損害を最小限にとどめ、中核事業を継続するための早期復旧を可能とするため、BCP(事業継続計画)の定期的な訓練や、工場ごとに避難訓練・消防訓練などの防災訓練を実施しています。また、身を守るためのシェイクアウト訓練や、安否確認を速やかに行うための安否確認訓練なども定期的に行っています。





ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



日東工業は、Fun to Shareに賛同しています。



NITO 日東工業株式会社

2021年9月発行

発行部署／お問合わせ先

広報室

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地
TEL (0561)64-0123 FAX (0561)62-3216

<https://www.nito.co.jp/>

SP-676 | 12000915SSN
OM10ILCC19